
空の境界・映画風紹介

月織黎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空の境界・映画風紹介

【Nコード】

N46060

【作者名】

月織黎

【あらすじ】

学校の課題で出されたもので、奈須きのこが書いた小説『空の境界』を月織なりに映画っぽく宣伝・紹介してみました。全章書くと二ページでは収まらないので、取り敢えず第一章『俯瞰風景』のみ。段落頭が三行空いているところは月織なりのオリジナル、それ以外は本文中からの抜粋です。

(前書き)

『空の境界』の第一章『俯瞰風景』のポイントをいかにうまく選出できるか、自分ではよくできているのかどうかまでは分かりませんが。

PRESENTED BY KINOKO NASU

「飛び降り」

* *

「俯瞰^{ふかん}の視界から得る衝動はただ一つ それは遠い、だよ」

* *

「たしかに、こいつは魔的だ」

* *

次々に投身自殺する少女達。

イメージはとんぼ。忙しく飛んでいる。

少女達は、さながら蝶のように。

いつしかついてこれなくなって、視界から消える頃、力なく落ちていった。

* *

「なじ」

式は上着の内側からナイフを引き出す。

「殺さなくっちゃな」
刃渡り六寸もの、刀というより刃そのものの凶器を。

* *

夜空に浮かび上がる白い姿は女のものだ。

その周囲に、八人の少女を飛行させて。

差し向けた指先に殺意が籠もる。

？飛べる？などという薄い印象ではなく、？飛ぶのだ？という確固たる印象にして。

相手の意識そのものに『飛んでいた』という印象をすり込むそれは、暗示の域をこえて洗脳の業にまで達している。

だが。

それより先に、式は女を視た。

幻像であろうと何であろうと、

『直死の魔眼』を持つ少女、両儀式。

生きている相手ならばたとえ神でも殺してみせる。

行こう、行こう、行こう、行こう、行こう、行こう、行こう、行
こう、行こう、行こう
行け！

「冗談。そんな憧れは、私の中にはないんだ」

何も握っていない左手が、中空を握る。そのまま後ろへと引かれた左手に手繰られるように、女と少女達の姿がぐい、と式へと引き寄せられた。

「でも、あいつを連れていかれたままは困る。抛り所にしたのはこっちが先だから、返してもらおうぞ」

女の形相が変わる。言葉が通じたのならば彼女はこう叫んでいた
だろう。

落ちろ、と。

「《おまえが墜ちろ》」

神をも殺す凶刃。天才・奈須きのこが描く、これぞ新伝綺ム
ーブメント！

* *

「自殺に理由はない。たんに、今日は飛べなかったただけだろう」

(後書き)

まだ『空の境界』を見たことがなく、これを読んで見てみたいと思
って下さったら恐悦至極です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4606o/>

空の境界・映画風紹介

2010年10月23日05時01分発行